

平成29年12月平成30年1月の月替展示について

12・1月月替展示「よその名勝、ふくいの名所—ガイドブック今昔—」

1 展示概要

年末年始は、初詣や帰省など、旅がより身近になる季節です。今回は、江戸時代から昭和期までの旅にまつわる資料を紹介します。

江戸時代は寺社参詣や湯治を目的とした徒歩の旅が中心で、伊勢参りや善光寺参りなどが大人気でした。大正から昭和にかけては、鉄道や自動車を使った観光を目的とした旅行が普及し、永平寺や東尋坊、気比神宮など、福井県内の観光地にもぎわいをみせていました。

2 期 間：平成29年11月25日（土）～平成30年1月24日（水） 文書館閲覧室

3 展示資料

(1) 主な展示資料（予定）

時代	展 示 資 料	備 考
江戸から明治	・「東海道名所図会」年未詳 吉川充雄家文書（当館蔵）	京都三条大橋から江戸日本橋までの東海道沿いの名所旧跡や宿場のようす、特産物などに加えて歴史や伝説などをかいたもの。
	・「続白山紀行」1833年（天保4） 山内秋郎家文書（当館蔵）	高田保浄が中根雪江に誘われて白山に登った際の見聞がもとになった、地誌に近いもの。
	・「寺請一札之事」（南菅生浦三左衛門妻、善光寺参詣）1857年（安政4） 松田三左衛門家文書（当館蔵）	庶民の旅の際の、旅行許可券と身分証明書とを兼ねた往来手形。旅行者の氏名、年齢、居住地のほか、宗旨、旅の目的、死亡時対処願などが書かれている。
	・「四国西国巡礼道中記（旅）」 1872年（明治5） 飯田広助家文書（当館寄託）	今庄から山城・大和・伊勢・伊賀・紀伊をめぐる後、四国で八十八箇所順礼をし、大阪を經由して帰宅した旅の道中記。
大正から昭和	・「福井県鳥瞰図」「福井市鳥瞰図」 1933年（昭和8） 福井県立図書館貴重資料	大正・昭和の代表的鳥瞰図絵師である吉田初三郎による鳥瞰図。1933年（昭和8）に福井で陸軍特別大演習が行われた際に描かれた。
	・「永平寺参詣ご案内」年未詳 坪田仁兵衛家文書（当館寄託）	永平寺鉄道株式会社が発行した永平寺参詣のパンフレット。
	・「大正六年福井県師範学校本科女子部第4月年生修学旅行日誌」 伊藤三郎左衛門家文書（当館蔵）	三重・奈良・大阪・京都などを観光した5泊6日の修学旅行の記録。かかった経費の記載や、イラスト・写真も挿入され、ガリ版刷りで作成されている。

(2) 展示パネル（閲覧室内）

「江戸時代の旅の年表」「伊勢参り」「ふくいの名所」など

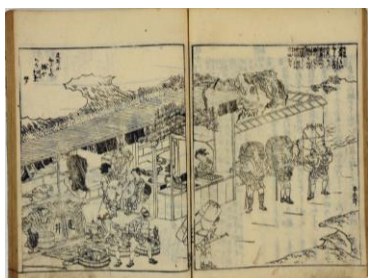
(3) ガラスケース

福井県、福井市、東尋坊・三国・芦原・永平寺などの鳥瞰図、敦賀名所案内図絵のタペストリー

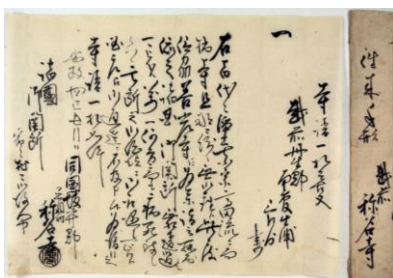
(4) 机上

「老万哩記念 鉄道競争すごろく」1925年（大正14）矢尾真雄家文書（当館蔵）

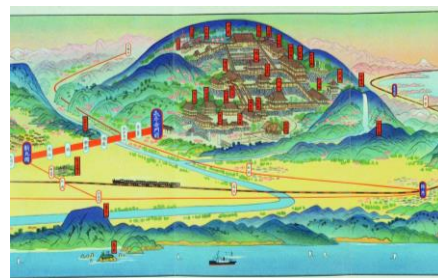
資料例



「東海道名所図会」



「寺請一札之事」



「永平寺参詣ご案内」